

人を大切に する鳥取市に



金田ひでみ

かねだ 秀己

日本共産党

【主な生活相談区域】国府町、河原町、用瀬町、佐治町、岩倉校区、稲葉山校区、津ノ井校区、若葉台校区、米里校区、倉田校区

【連絡先】日本共産党東・中部地区委員会 鳥取市吉方168-8 Tel0857-23-6674
mail jcpitt@ivory.plala.or.jp

鳥取民報 2010年7月発行 日本共産党の政見と活動を紹介します。

ごあいさつ

みなさん、いま低賃金、失業などで苦しい生活に追われる人は少なくありません。行政はそうした人たちに親身に相談に乗るのではなく、追い込む立場になっています。

私と妹は、病弱な母と祖母によって育てられました。日々の生活も大変で、お金に苦労する親を見て育ってきました。今の市民に冷たい鳥取市の対応はおかしいと思います。

私は国府町役場では、農業分野の仕事に関わってきました。一つひとつの集落に入って話を聞き、住民の意見を取り入れた事業をすすめていく仕事にやりがいを感じていました。

住民とともに力をあわせて、住みよい町にしていく思いは今も変わりません。人に優しい鳥取市にするために、みなさんのお力をいただきます。よろしくお願いします。



【プロフィール】

- 1953年 国府町松尾に生まれる
- 1972年 岩美高校卒業
- 国府町役場に勤務
- 国府町職員労組に加盟
- 県連合青年団副団長
- 1982年 日本共産党入党
- 2004年 合併で鳥取市役所職員に
- 2007年 鳥取市役所退職
- 現在 妻と子ども3人と過ごす

住所 鳥取市国府町松尾93

電話 0857(58)0659

【ご意見・ご要望などお寄せください。】

【事務所連絡先】

日本共産党東・中部地区委員会

☎6800842

鳥取市吉方一六八一八

Tel. 〇八五七(二三)六六七四

Fax 〇八五七(二四)四四九一



金田ひでみ さんは こんな人

貧困のない、弱者にやさしい鳥取市にしたい

お金がなくてつらい思いをしていた母と祖母を見て育った金田さんは、貧困のない社会をめざします。困っている人にこそ手が差し伸べられる市政にと考えています。

平和と自由のために実行

高校時代にスポーツを中心に青年団活動に参加。のちに県連合青年団の副団長に。その時、原水爆禁止の平和行進を青年団の行事にとり入れ、核兵器廃絶のための国連への県代表

派遣の取り組みに力を入れました。

国府町職員組合の中でも活動。労働組合の自主性尊重と、政党支持の押し付けに反対するなど自由を守るためにつくしました。



道理があるから入党

労働組合の活動、原水禁運動を通じて、日本共産党の人と親しくなり、「赤旗」の購読を始めました。ある日、上司から「お前は共産党か。購読をやめろ」といわれました。しか

し、思想信条の自由は個人に保障されていると、突っぱねてきました。

共産党の言っていることはもともと感ずる中で、知人の勧めもあり日本共産党に入党しました。



市民といっしょに作りたい

国府町役場の仕事では、ほとんどが農業関係とダム関係でした。集落に入って住民との話し合いの中で、よりよいものにしていく仕事でした。苦情も多かったようですが、それに応えて真剣に相談することは楽しい仕事だった

と語ります。

鳥取市になってからは、地域の人たちとのつながりの仕事も少なく、やりがいを持ってず退職。

金田さんは、仕事への思い残しもあり、今の市政は弱者に対して冷たいと感じ、そんな市政を変える仕事をぜひしたいとがんばっています。

金田ひでみの約束

- 国保料、住民税の引き下げと、生活困窮者への相談・援助の市政にすすめます。
- 農業の価格保障、所得保障の拡充で、安心して続けられる農業をめざします。
- 中小業者を守り、雇用を守り広げる市政をめざします。
- ごみ焼却場の大型化、広域化に反対します。
- 基地のない、平和な日本と鳥取をめざします。

